

令和7年
2025年

7月4日
金曜日

第11747号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



- ▶ 牛豚等疾病小委員会飼養衛生管理基準の改正など議論、パブコメの手続きを進めるー農水省……………P2
- ▶ 「国際畜産総合展2027 from IPPS」の新名称で ALL畜産による総合展にー中畜……………P3
- ▶ 米国の6月1日現在豚総飼養は7513万7千頭、前年同期から微増……………P3
- ▶ 前川製作所が「M-コンパス2025」を開催、ヒートポンプ製品などを紹介……………P4
- ▶ 日本ハムが期間限定で「パワ辛」2品を新発売…P4
- ▶ [畜産物卸売価格・6月]和牛去勢A4価格は前年同期比114円高……………P5
- ▶ 滋賀県公取協総会、全議案を承認……………P5
- ▶ 「食品主要195社」価格改定動向調査、7月の飲食料品値上げ前年比5倍……………P6
- ▶ 伊藤ハムが鬼滅の刃コラボのグランドアルト新味3品の「推し味投票」を実施……………P6
- ▶ [輸入牛現物相場]豪州産はサイクロンの影響による供給懸念も……………P7
- ▶ バーガーキング「ワイルドウエストバーガーズ」に2種の新作発売……………P7
- ▶ [資料]牛・豚と非商用農場の飼養衛生管理基準(案)の対比表……………P8
- ▶ [資料]畜産物卸売価格の推移……………P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]3日……………P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]3日…P11

注目のヘッドライン

牛豚等疾病小委員会飼養衛生管理基準の改正など議論、パブコメの手続きを進めるー農水省

…詳細はP2

「国際畜産総合展 2027 from IPPS」の新名称で ALL 畜産による総合展にー中畜

…詳細はP3



りんご和牛
信州牛
登録商標 第1394040号



信州プレミアム牛肉
登録商標 第5282895号 第5282894号



信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売



健康と食生活を演出する
ビセラル株式会社

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12
営業一課 / ☎ (03) 3919-2929 FAX (03) 3919-2930
総務 / ☎ (03) 3919-2980 FAX (03) 3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

牛豚等疾病小委員会 飼養衛生管理基準の改正など議論、パブコメの手続きを進めるー農水省

農水省は3日、食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会第105回牛豚等疾病小委員会を開催し、飼養衛生管理基準の改正、飼養衛生管理指導等指針の一部変更、豚熱およびアフリカ豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針留意事項の改正について議論した。このうち、飼養衛生管理基準の改正、飼養衛生管理指導等指針の一部変更については、分割管理に取り組む場合の対応を追記することや非商用農場の飼養衛生管理基準案など、同小委員会で示した内容を踏まえ、今後都道府県への意見紹介およびパブリックコメントの手続きを進めることについて了承された。一方、特定家畜伝染病防疫指針留意事項の改正では、疑似患畜の除外について、発生農場と飼養管理者が共通している他農場で、シャワーインと同程度の措置を講じることで、疑似患畜から除外できるよう記載する案が示されたが、これについてはリスクなどの分析をしながら検討を重ねていくとされた。

冒頭、坂勝浩消費・安全局長は「6年シーズンの高病原性鳥インフルエンザについては、発生件数、殺処分ともに、過去3番目に多い数字となった。このような状況を受け、農水省では殺処分による影響を極力減らすため、飼養衛生管理の強化、さらには農場の分割管理の推進、まん延防止に向けた防疫措置の見直しなどを柱とする対策パッケージを打ち出している。本委員会では、牛、豚などについても見直す点がないか、専門家の皆さまから忌憚のない意見を伺えればと思っている」と述べた。

「飼養衛生管理基準の改正」のうち、分割管理を導入する際の措置として、牛、水牛、鹿、めん羊および山羊については口蹄疫などの発生時、豚、猪については豚熱などの影響の緩和を図るため、衛生管理区域および人、車両、物などの動線の見直しにより、農場を分割して管理(分割管理)することに取り組む場合は、家畜保健衛生所の確認を受け、指導に従うこと。また、豚、猪の大規模所有者が講じる措置として、伝染病が発生した場合の殺処分などに多大な時間を要すると都道府県知事が認める物は監視伝染病

の発生に備えた対応計画を策定することとしており、対応計画の実施事項に「防疫措置の実施に関して所有者が行う人員、資機材などの準備」を追記する。

このほか、一般的な商用農場とは飼養形態が異なる小規模飼養農場については、飼養衛生管理基準を適用することがなじまない場合がある。このため、比較的他の農場に疾病を伝ばするリスクが低いと考えられる生産物の出荷がない非商用農場について、自らが飼養する家畜の感染予防および疾病の早期発見・早期通報に資する基本的な事項を項目とする新たな基準案を示した。なお、非商用家畜は飼養する家畜の頭羽数が牛、水牛、および馬にあつては1頭、鹿、めん羊、山羊、豚および猪にあつては6頭未満、鶏、あひるなどは100羽未満、エミュー、ダチョウにあつては10羽未満であり、生きた家畜および乳、卵などの生産物の出荷を行っていない農場で飼養されている家畜とする。(8面参照)

「飼養衛生管理指導等指針の一部変更」では、分割管理とは別に、同一経営内の複数農場間での人や物などの交差により、一つの農場で発生した場合に他の農場の家畜が疑似患畜として殺処分対象となることを避ける取り組みを行うよう追記。

「特定家畜伝染病防疫指針の留意事項の変更」については、疑似患畜の除外について議論された。変更案では、発生農場と飼養管理者が共通している農場において、シャワーインと同程度の措置を講じることで、疑似患畜から除外できるよう記載。ただし、疑似患畜から除外した場合、当該豚などを移動制限区域内の農場と同様の措置を講ずるよう示され、同程度の措置として、①衛生管理区域入場の際、専用衣服および靴の他、マスク、メディカルキャップを適切に着用していること②衛生管理区域退場の際、①で着用した専用衣服などを脱ぎ、洗顔、うがい、手指消毒を実施するとともに、全身の噴霧消毒を実施していること等を提案した上で、それらがシャワーインと同等の効果があるか検証する必要があるなどの指摘を受け、今後もリスク評価をする必要があるとされた。

「国際畜産総合展 2027 from IPPS」の 新名称で ALL 畜産による総合展に一中畜

公益社中央畜産会は2日、1992年から30年以上にわたり養鶏・養豚産業の発展に貢献してきた「国際養鶏養豚総合展(IPPSS)」を継承し、「国際畜産総合展 2027 from IPPS」(2027年5月19~21日、愛知県国際展示場 Aichi Sky Expo)として、新たな「ALL 畜産」による総合展へと生まれ変わることを発表した。日本の畜産業が抱えるさまざまな課題に対処するために必要な、最新技術の研究発表や畜種を越

えた情報共有の場として情報発信基地を目指し、会場面積を大幅に拡大し、出展範囲の拡大や異畜種・異業種間の交流、研究発表の場の拡充、さらには海外出展者に対するサービスの強化を図る。「国際畜産総合展 2027 from IPPS」では、新たなイノベーションの創出、ビジネスチャンス獲得、研究開発促進、若手人材の育成強化など、日本の畜産業のさらなる発展、ひいては食料自給率の向上を目指す。

米国の6月1日現在豚総飼養は7513万7千頭、前年同期から微増

米国農務省はこのほど、6月1日現在の豚飼養動向調査を発表した。それによると、総飼養頭数は7513万7千頭(前年同期比0.3%増)と前年同期から微増。繁殖用雌豚は597万9千頭(0.5%減)と減少し、肥育豚は6915万8千頭(0.4%増)と前年同期をわずかに上回った。

また、肥育豚の重量別では50ポンド以下2153万6千頭(1.2%増)、50~119ポンドは1942万1千頭(0.1%増)、120~179ポンドは1526万頭(0.5%増)、180ポンド以上は1294万1千頭(0.6%減)となっている。

繁殖母豚の12~2月は289万2千頭(1.3%減)と減少。以降は3~5月が290万7千頭(0.4%減)、12~5月が580万頭(0.8%減)、6~8月が297万4千頭(0.4%減)、9~11月が294万6千頭(0.7%増)、6~11月が592万頭(0.2%増)となっている。また、離乳子豚頭数の12~2月は3370万1千頭(0.2%減)、3~5月は3417万1千頭(1.3%増)、12~5月は6787万3千頭(0.6%増)。さらに1腹あたり子豚産子数の12~2月は11.65頭(1.0%増)、3~5月は11.75頭(1.6%増)、12~5月は11.70頭(1.4%増)とそれぞれ前年同期を上回っている。

州別飼養頭数ではアイオワ州が最も多い2470万頭(前年同月並み)。以下ミネソタ州が930万頭(1.1%減)、ノースカロライナ州が780万頭(2.6%増)、イリノイ州が575万頭(前年同月並み)、インディアナ州が445万頭(1.1%増)、ネブラスカ州

が355万頭(1.4%減)、ミズーリ州が350万頭(4.5%増)、オハイオ州が260万頭(4.0%増)と続く。

米国豚飼養頭数と動向 単位:千頭(6月1日調査)

6月1日現在	2024	2025	前年比
総頭数・種雄含む	74,891	75,137	100.3%
繁殖用雌豚頭数	6,008	5,979	99.5%
肥育豚飼養頭数	68,884	69,158	100.4%
○重量別肥育豚頭数			
50ポンド以下	21,279	21,536	101.2%
50~119ポンド	19,398	19,421	100.1%
120~179ポンド	15,190	15,260	100.5%
180ポンド以上	13,017	12,941	99.4%
○繁殖母豚頭数			
12月~2月	2,929	2,892	98.7%
3月~5月	2,920	2,907	99.6%
12月~5月	5,848	5,800	99.2%
6月~8月	2,985	2,974	99.6%
9月~11月	2,925	2,946	100.7%
6月~11月	5,910	5,920	100.2%
○離乳子豚頭数			
12月~2月	33,756	33,701	99.8%
3月~5月	33,743	34,171	101.3%
12月~5月	67,499	67,873	100.6%
6月~8月	34,981	-	-
9月~11月	34,875	-	-
6月~11月	69,856	-	-
○1腹あたり産子頭数			
12月~2月	11.53	11.65	101.0%
3月~5月	11.56	11.75	101.6%
12月~5月	11.54	11.70	101.4%
6月~8月	11.72	-	-
9月~11月	11.92	-	-
6月~11月	11.82	-	-
○州別上位飼養頭数			
アイオワ州	24,700	24,700	100.0%
ノースカロライナ州	7,600	7,800	102.6%
ミネソタ州	9,400	9,300	98.9%
イリノイ州	5,750	5,750	100.0%
インディアナ州	4,400	4,450	101.1%
ミズーリ州	3,350	3,500	104.5%
ネブラスカ州	3,600	3,550	98.6%
オハイオ州	2,500	2,600	104.0%

前川製作所が「M-コンパス 2025」を開催 ヒートポンプ製品などを紹介

(株)前川製作所は2日、企業カンファレンス「M-コンパス2025」を茨城県守谷市の同社守谷工場で開催した。ヒートポンプ商品と食品市場での使用事例を中心に説明を行い、その後には工場見学も実施。各機器の担当者が実物を動かしながら製品を紹介した。

カンファレンスの冒頭、前川真社長(写真)は「昨今、工事やエンジニアリング、アフターサービスなどの場面で人手不足が社会的な問題になっており、その解決に取り組みたい」「創立101年目を迎えた当社は長く自然冷媒の技術を扱っており、高い技術を持っていると自負している。そういった技術を生かして皆さまに協力していければ」と述べた。

今回「M-コンパス」が行われた守谷工場は、マエカワグループの中核を担う“マザー工場”。広大な敷地の中に、製造のみならず、開発やアフターサービス、研修といった多くの機能を兼ね備えている。これらの機能を連携させることで、食肉関連機器を含む高度で革新的な製品群をそろえ、幅広く産業を支えている。

カンファレンスおよび工場見学で解説された「unimo」シリーズは、自然冷媒による環境配慮、一つの装置で同時に“冷”と“温”を賄える省エネ・

省スペース、電気加熱を生む脱炭素などが特長。空気熱源エコキュート(unimo AW)、水熱源CO2ヒートポンプ(unimo WW)、空気・水両熱源CO2ヒートポンプ(unimo AWW)な



どの多様な製品ラインアップも強みだ。生産時に発生する廃熱を空調に転換することを目的として、鶏肉処理工場でも導入されている。そのほか、空気を自然冷媒としてマイナス60°Cの低温を生み出す冷蔵庫、暖気流入と冷気流出を防ぐ遮熱用エアカーテン「サーモシャッター」、虫を吸引・捕獲する防虫用エアカーテン「バグシャッター」なども紹介された。

同社では、設計やエンジニアリングのサポート、施工やアフターサービスに関する勉強会の実施など、トータルでの支援体制が整っている。そうした取り組みを通じ、ヒートポンプをはじめとする機器のさらなる普及を目指すとともに、社会のさまざまな課題を解消していく。

日本ハムが期間限定で「パウ辛」2品を新発売

日本ハムは1日、暑さで食欲が減退しがちな夏に合わせて「チキンナゲット パウ辛」(左写真)、「モーニングサブ パウ辛」(右写真)の2品を期間限定で発売した。

「チキンナゲット パウ辛」は、カラッとフライされたホワイトミートを使用し、唐辛子の“辛さ”と後からくる“うまさ”の辛さが口の中で交互に楽しめる、つまみに最適な商品。「モーニングサブ パウ辛」は、ペッパーやマジョラムなどの香辛料で、豚肉の風味と香味を引き出し、唐辛子の辛みを組み合わせた商品。朝の定番から夕食やつまみの一品としても楽しめる。

2品とも、刺激的な唐辛子の辛さが夏の食欲を増進し、たんぱく質をしっかり摂ることで、夏の暑さに負けない体づくりを応援する。また、火を使わずにレンジ調理が可能な簡便さも夏のごはん作りに適している。



【畜産物卸売価格・6月】和牛去勢A4価格は前年同期比114円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた6月の畜産物卸売価格の推移(9面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は122万5800頭(前年同月比2・7%増)となった。豚肉「極上」「上」の価格は東京が795円(40円高)、大阪が763円(48円安)。成牛のと畜頭数は8万3730頭(1・1%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2101円(114円高)、交雑牛B3が1545円(34円高)となった。

[豚] 全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が5万9300頭(0・5%減)、中旬が5万7850頭(6・9%増)、下旬が5万7983頭(3・1%減)。東京の

価格は上旬が820円(55円高)、中旬が778円(91円高)、下旬が791円(32円安)で、大阪は上旬が722円(130円安)、中旬が770円(20円安)、下旬が820円(22円高)となった。

[牛] 全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が3620頭(15・5%減)、中旬が3998頭(5・7%減)、下旬が3798頭(34・1%増)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2138円(88円高)、中旬が2077円(117円高)、下旬が2082円(129円高)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1554円(40円高)、中旬が1542円(46円高)、下旬が1535円(2円安)となった。

滋賀県公取協総会、全議案を承認

滋賀県食肉公正取引協議会(岡山光雄会長=写真)は2日、草津市のホテルポストプラザ草津で令和7年度通常総会を開催、全議案を原案通り可決した。

総会に先立ち、講習会が行われ、滋賀県農政水産部みらいの農業振興課の小野瑞季主事が「食肉表示に関する内容(品質事項)」の演題で講演を実施した。また、中小企業診断士の田畑一佳氏が「令和7年度に活用できる補助金」をテーマに講義を行った。

総会の冒頭、岡山会長は出席者へ謝辞を述べた後、「食肉事業者を取り巻く環境は米国の輸入関税の影響や、米をはじめとする各種物価高に悩まされており、非常に厳しい状況だ。滋賀県では10月に(国民スポーツ大会の)国スポ・障スポが開催されるが、少しでも良い状況になるように願っている。また、品質表示についても他県ではあるが、違法な事例が発覚している。講習会でもあったように、自店舗の表示について、再度見直しを徹底してほしい」とあいさつ。

そのあと行われた議事では、令和6年度の事業報告、収支決算、監査報告、6年度事業計画案、収支予算案について審議され、いずれも承認。役員改選では日本チェーンストア協会(株)平和堂の小林慎治氏が理事に、高橋隆治氏(近江・かど萬)が監事にそれ

ぞれ新任した。

結びに来賓として滋賀県総合企画部県民活動生活課の佐藤勝也課長が登壇し、景品表示法の定義などを簡単に解説。食肉表示における指導事例として「牛肉のパック販売において、“牛脂”を含めた内容量を表示して販売していた」「“地域で一番安い”と表示していたが“合理的な根拠”が乏しいと判断される」ケースを例に挙げ、たとえ故意ではなくとも、一般消費者に誤解を招く恐れのある表示は違反になる場合がある。消費者からの信頼を失わないためにも、県では定期的に研修会を実施しているとして、事業者に対して改めて法令順守を促した。

また、滋賀県農政水産部の富田文博課長が「秋の国スポ・障スポでは近江牛生産流通推進協議会を通じて、県も食肉の消費拡大のPRを支援させていただく。ぜひ、近江牛の魅力を全国に広げてほしい」と祝辞を述べた。総会終了後は意見交換会が行われ、交流を深めた。



「食品主要 195 社」 価格改定動向調査、7 月の飲食料品値上げ前年比5倍

帝国データバンクは、2025年7月以降における食品の値上げ動向と展望・見通しについて、分析を行った。それによると、主要な食品メーカー195社における、家庭用を中心とした7月の飲食料品値上げは2105品目となった。前年7月(418品目)に比べ1687品目増。また、1月以降7カ月連続で前年同月を上回り、連続増加期間としては22年の統計開始以降で最長を更新した。

25年7月の値上げを食品分野別に集計すると、カレールウなど香辛料のほか、ダシ製品などを中心とした「調味料」(1445品目)が最多となった。ついで「酒類・飲料」(206品目)、「菓子」(196品目)と続き、「加工食品」(117品目)では、引き続き米価格高騰の影響を受けた米飯製品や、パスタソースといった製品が対象となった。

25年通年の値上げは、11月までの公表分で累計1万8697品目に上り、前年通年の実績(1万2520品目)を49・3%上回った。1回当たり平均値上げ率は15%と、前年(17%)をやや下回る水準が続いた。食

品分野別では「調味料」(6108品目)が最も多く、前年(1715品目)から256・2%と大幅に増加したほか、年間では2022年以降で2番目に多い水準となった。「酒類・飲料」(4483品目)は清涼飲料水のほかビール、清酒など広範囲で値上げとなり、前年から約7割増となるなど大幅に増加した。「加工食品」(4138品目)は、冷凍食品やパックごはん、のりなどの値上げが目立った。25年における飲食料品値上げの勢いは前年に比べて強い状態が続いている。

飲食料品における値上げは、原材料高に加えて物流費やエネルギーコストの上昇、賃上げによる労務コストの増加を背景とした粘着性の高い物価上昇圧力を要因として、比較的低位に抑制された前年から大幅に増加する展開が続いている。国内外の天候不順による供給量の不安定化や、円安による輸入コストの上振れといった要因もあり、当分継続する可能性が高いとみられており、早ければ7月にも、23年以来2年ぶりに年間2万品目台への到達が判明するとみている。

伊藤ハムが鬼滅の刃コラボの グランドアルト新味3品の「推し味投票」を実施

伊藤ハムは、6月1日から期間限定で発売している「鬼滅の刃」の人気キャラクターをイメージした「The GRAND アルトバイエルン」の新味3品「旨辛味(チョリソー)」「刺激味(痺れ花椒)」「肉肉味(ポーク&ビーフ)」について、「肉のうまさに全集中!推し味投票」を2日から実施している。

発売から1カ月、グランドアルトバイエルン新味3品の販売状況は、同社計画比約250%と好調に推移。「期間限定発売」を惜しむ声や各フレーバーへの驚きの声、実施中のクロズドキャンペーンへの思いなど、同社には消費者から多くの反響があった。2日からは、伊藤ハム公式Xで、人気ナンバー1を決定する「肉のうまさに全集中!推し味投票」を2回実施する。人気の味は「鬼滅の刃」コラボ終了後に、「The GRAND アルトバイエルンシリーズ」のフレー



バー品として改めて販売することを検討する。

投票期間は第1弾が7月2~8日、第2弾が7月18~24日。参加方法は、それぞれの期間中、伊藤ハム公式Xアカウントに投稿されるポストから、好きな味の一つ選んで投票する。結果は後日、伊藤ハム公式Xで発表する。

【輸入牛現物相場】 豪州産はサイクロンの影響による供給懸念も

豪州産チルドは引き続きカタ、モモなどの赤身の引き合いが強い。一方でポイント、ナーベルなどは動きが重く、在庫が増えつつある。ロインやランプは現地の相場高もあり買い付けができておらず、市中在庫はタイトだ。相場はこの先一服するのではとみられる。

一方で、現地の生産状況は堅調だが、人手不足によって通関の遅延が生じやすく、直近ではサイクロンの影響なども懸念される。結局供給面の不安から相場が下がらないということも考えられる。米国产チルドははまだ荷動きは重いが必要期でもあることから、先々は相場を上げていく予想。

豪州産フローズンはトリミング中心の引き合い。米国产はショートプレート在庫が多く、価格競争になっているようだ。末端の引き合いはそれほど強くないため、当面はこの相場を維持するとみる。

【輸入牛肉現物相場】

円/キロ

		グラス	ショートグレイ	
豪州産	トップサイド	1,320 ~ 1,380	1,350 ~ 1,500	
	シックフランク	1,350 ~ 1,430	1,430 ~ 1,480	
	アウトサイド	1,300 ~ 1,350	1,380 ~ 1,450	
	ポイント	1,250 ~ 1,350	1,350 ~ 1,450	
	ナーベル	1,150 ~ 1,250	1,180 ~ 1,250	
	ランプ	1,600 ~ 1,650	1,750 ~ 1,950	
	クロッド	1,300 ~ 1,400	1,350 ~ 1,450	
	チャックロール	1,450 ~ 1,550	1,550 ~ 1,650	
	チャックテンダー	1,500 ~ 1,600	1,500 ~ 1,700	
	キューブロール	3,200 ~ 3,500	3,970 ~ 4,600	
C	ストリップロイン	2,350 ~ 2,400	2,550 ~ 2,700	
	テンダーロイン	4,300 ~ 4,500	4,700 ~ 4,800	
	豪州産	チャック&ブレード	-	-
	ポイント	1,300 ~ 1,350	-	
F	ナーベル	980 ~ 1,150	-	
	カウミート	980 ~ 1,200	-	
F	トップサイド	1,300 ~ 1,400	-	
	シックフランク	-	-	

		チルド	フローズン
米国产	スクウェアカットチャック	-	-
	シールドクロッド	1,650 ~ 1,750	1,550 ~ 1,650
	ショートプレート	1,100 ~ 1,250	980 ~ 1,050
	ボンレスショートリブ(チョイス)	5,800 ~ 6,000	-
	ボンインショートリブ	-	-
	チャックリブ(チョイス)	2,600 ~ 2,900	3,300 ~ 3,400
	ストリップロイン(チョイス)	3,500 ~ 4,000	-
	リブアイロール(リップオン)	5,000 ~ 5,500	-
	テンダーロイン	5,000 ~ 6,000	-
	ステーキレディ	-	-
	チャックアイロール(チョイス)	1,900 ~ 2,300	1,650 ~ 1,850
	同(プライム)	2,500 ~ 2,600	1,800 ~ 2,500

バーガーキング「ワイルドウェストバーガーズ」に2種の新作発売

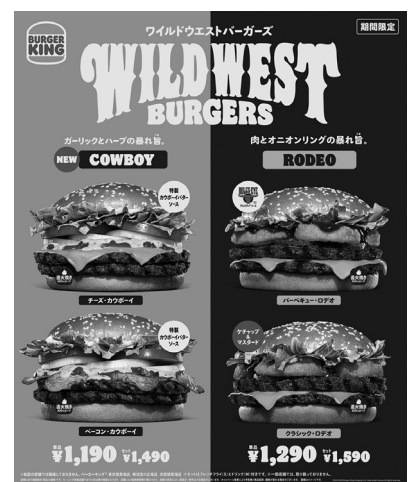
(株)ビーケージャパンホールディングス(東京都千代田区、野村一裕社長)は4日、ガーリックとハーブがガツンと効いた、クセになるうまさの新開発「特製カウボーイバターソース」で仕上げた「チーズ・カウボーイ」「ベーコン・カウボーイ」(共に税込み単品1190円、セット1490円)の2商品を期間限定で新発売した。

カウボーイバターソースは米国で肉料理を格上げする万能ソースとして親しまれているソースで、「特製カウボーイバターソース」は、溶かしバターにガーリックとタイム、オレガノ、コリアンダー、フェンネルの4種のハーブにこしょうをプラスした、本格的なうまさの特製ソースとなっている。

「チーズ・カウボーイ」は、同店自慢の直火焼きの100%ビーフパティ2枚、コクのあるチェダーチーズ2枚、フレッシュなレタス、トマト、オニオンの豊富な野

菜、アクセントのピクルスを重ね、マヨソースと新開発の「特製カウボーイバターソース」で仕上げた大型本格バーガー。また「ベーコン・カウボーイ」は「チーズ・カウボーイ」にさらにスモーキーなベーコン4枚をプラスしたボリュームなバーガー。

ガーリックとハーブがガツンと効いた、クセになるうまさの新開発のソースでアメリカの本格的なおいしさが楽しめる。



牛・豚と非商用農場の飼養衛生管理基準(案)の対比表

	豚の項目(案) ※()は牛の項目での記載	対応する非商用農場の項目(案)
I.家畜防疫に係る基本的事項	1. 家畜の所有者の責務	
	2. 家畜防疫に関する最新情報の把握及び衛生管理の実践	11. 家畜防疫に関する最新の情報の把握並びに特定症状が確認された場合の早期通報及び移動の停止
	3. 飼養衛生管理マニュアルの作成及び従事者等への周知徹底	
	4. 記録の作成及び保管	
	5. 大規模所有者が講ずる措置	
	6. 獣医師等の健康管理指導	2. 獣医師等の健康管理指導
	7. 家畜伝染病の発生リスクの高まりに対する措置	
	8. 衛生管理区域の設定	(4. 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等)
	9. 分割管理を導入する際の措置	
	10. 放牧制限の準備	
	11. 埋却等に備えた措置(埋却等の準備)	
	12. 愛玩動物の飼育禁止	
	13. 密飼いの防止	3. 密飼いの防止
	14. 飼養する家畜の健康観察	1. 飼養する家畜の健康観察
II.衛生管理区域への病原体の侵入防止	15. 衛生管理区域への必要のない者の立ち入りの制限	
	16. 他の畜産関係施設等に立ち入った者等が衛生管理区域に立ち入る際の措置	
	17. 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等	4. 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
	18. 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用	5. 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
	19. 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等	(7. 他の農場等に持ち込んだ物品等を衛生管理区域に持ち込む際の措置)
	20. 他の畜産関係施設等で使用した物品等を持ち込む際の措置	7. 他の農場等に持ち込んだ物品等を衛生管理区域に持ち込む際の措置
	21. 処理済みの飼料の利用(記載なし)	
	22. 安全な資材の利用	
	23. 衛生管理区域への野生動物の侵入防止(記載なし)	
III.衛生管理区域内における病原体による汚染拡大防止	24. 畜舎に立ち入る者の手指消毒等	
	25. 畜舎ごとの専用の衣服及び靴の設置並びに使用	
	26. 器具の定期的な清掃又は消毒等	8. 畜舎及び器具の清掃又は消毒の実施
	27. 畜舎外での病原体による汚染の防止	
	28. 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕並びに大臣指定地域における舎外飼養	9. 野生動物の侵入防止及び害虫の駆除
	29. 給餌設備、給水設備等の病原体による汚染の防止	6. 飼料、飲水の病原体による汚染の防止
	30. ねずみ及び害虫の駆除	9. 野生動物の侵入防止及び害虫の駆除
	31. 衛生管理区域内の整理整頓、畜舎施設の清掃及び消毒	
IV.衛生管理区域外への病原体の拡散防止	32. 衛生管理区域から退出する者の手指消毒等	
	33. 衛生管理区域から退出する車両の消毒	
	34. 衛生管理区域から搬出する物品の消毒等	10. 衛生管理区域から搬出する物品の消毒等
	35. 特定症状が確認された場合の早期通報並びに出荷及び移動の停止	11. 家畜防疫に関する最新の情報の把握並びに特定症状が確認された場合の早期通報及び移動の停止
	36. 特定症状以外の異状が確認された場合の出荷及び移動の停止	

畜産物卸売価格の推移

(令和7年6月)
単位：頭数(頭)、価格(円/kg)

	豚肉 極上・上					牛肉			全国と畜 頭数		鶏卵	鶏肉	
	東京		大阪		加重 平均 価格	東京(加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね
	価格	頭数	価格	頭数		和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2					
6年5月	716	6,667	708	404	716	2,122	1,581	991	1,360,411	88,038	219	662	374
6年6月	755	5,363	811	296	758	1,987	1,511	1,014	1,193,058	84,676	204	648	368
上旬	765	1,539	852	86	769	2,050	1,514	997	59,600	4,233	350	638	369
中旬	687	2,016	790	114	692	1,960	1,496	1,016	54,100	4,241	350	638	369
下旬	823	1,808	798	96	822	1,953	1,537	1,034	59,829	2,832	347	630	367
7年5月	661	5,518	704	278	663	2,266	1,625	1,177	1,297,245	84,643	340	855	501
7年6月	795	5,639	763	318	793	2,101	1,545	1,201	1,225,800	83,730	340	844	538
上旬	820	1,832	722	124	814	2,138	1,554	1,247	59,300	3,620	340	852	530
中旬	778	2,247	770	116	777	2,077	1,542	1,208	57,850	3,998	340	845	539
下旬	791	1,560	820	78	793	2,082	1,535	1,126	57,983	3,798	340	837	545
1日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2日(月)	765	177	726	35	759	2,265	1,573	-	55,100	4,130	340	858	525
3日(火)	812	283	718	2	811	2,184	1,558	-	62,800	4,070	340	855	524
4日(水)	833	135	668	42	794	2,141	1,576	1,243	55,000	4,370	340	-	-
5日(木)	824	280	727	16	819	2,139	1,559	-	60,100	3,630	340	850	527
6日(金)	821	359	-	-	821	2,116	1,538	-	58,600	3,960	340	846	531
7日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110	-	850	535
8日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9日(月)	825	301	791	29	822	2,085	1,552	1,248	61,600	4,390	340	848	530
10日(火)	843	297	-	-	843	2,079	1,536	-	61,900	4,300	340	856	538
11日(水)	826	170	766	37	815	2,060	1,568	1,157	55,000	4,190	340	-	-
12日(木)	800	296	761	1	800	2,121	1,520	-	62,200	4,020	340	849	535
13日(金)	801	271	778	4	801	2,065	1,504	-	55,900	3,600	340	852	537
14日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	850	538
15日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16日(月)	778	259	795	24	779	2,023	1,531	-	59,900	3,660	340	840	537
17日(火)	768	323	-	-	768	2,072	1,550	-	63,100	4,340	340	845	543
18日(水)	777	187	769	35	776	2,065	1,566	-	53,400	4,430	340	-	-
19日(木)	749	345	739	15	749	2,091	1,529	1,222	61,300	3,860	340	837	539
20日(金)	758	396	-	-	758	2,092	1,550	-	52,000	3,880	340	840	547
21日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	839	549
22日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23日(月)	767	224	821	22	772	2,106	1,547	-	56,700	4,190	340	844	544
24日(火)	776	271	826	2	776	2,101	1,548	-	62,100	3,640	340	845	550
25日(水)	777	213	809	40	782	2,085	1,538	1,118	54,200	4,110	340	-	-
26日(木)	781	321	-	-	781	2,072	1,572	-	60,600	3,150	340	835	551
27日(金)	801	264	-	-	801	2,058	1,434	1,165	54,200	3,590	340	837	549
28日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	845	550
29日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30日(月)	842	267	848	14	842	2,121	1,487	-	60,100	4,110	340	811	521

注1) 全国と畜頭数は主要な41と畜場のと畜実績からの推計値
 注2) 当月の価格及び頭数は速報値
 注3) 牛肉の価格は、生体及び搬入の加重平均(全て瑕疵含む)
 注4) 「-」は取引無し
 注5) 卸売価格は、豚肉・牛肉は税込価格、鶏卵・鶏肉は税抜価格

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 7月3日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,022	2,332	2,052	1,679	-
		安値	2,070	1,947	1,838	1,193	-
		平均	2,406	2,100	1,987	1,360	-
	53頭	頭数	24	19	7	3	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	1,125	-
	1頭	頭数	-	-	-	1	-
	去 A	高値	3,048	2,212	2,031	-	-
		安値	2,052	2,003	1,940	-	-
		平均	2,354	2,123	1,996	1,864	-
	153頭	頭数	87	49	16	1	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B 6頭	平均	-	-	-	1,228	
	去 C 5頭	平均	-	-	-	1,222	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,736	1,583	1,418	-
		29頭	頭数	-	4	15	10
	雌 C	平均	-	-	1,514	-	-
		1頭	頭数	-	-	1	-
	去 B	平均	-	1,773	1,621	1,462	-
		32頭	頭数	-	7	13	12
去 C	平均	-	-	1,500	1,333	-	
6頭	頭数	-	-	3	3	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	396	918	-	(競り)	(相対)	
売買	383	606	210.5	-	-	69

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌 A		2,395	2,062	1,572	1,374	-
	B	-	-	-	1,345	1,191
和 去 A		2,441	2,122	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌 B		-	-	-	1,042	1,051
	C	-	-	-	1,029	998
乳 去 B		-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌 B		-	1,627	1,515	1,399	-
	C	-	-	-	1,299	-
交 去 B		1,876	1,725	1,614	-	-
	C	-	-	-	1,203	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	956	974	981	887	821
	安値	929	861	832	454	151
	平均	942	901	881	771	506
	頭数	(2)	(200)	(253)	(63)	(88)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

[大阪食肉卸売市場] 7月3日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,431	2,199	-	-	-
(頭数)	(7)	(6)	(1)	(-)	(-)
B	-	2,009	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,682	2,172	-	-	-
(頭数)	(12)	(5)	(-)	(-)	(-)
B	-	1,957	-	-	-
(頭数)	(-)	(2)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,793	1,635	1,562	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,793	1,669	1,488	-
C	-	-	-	-	-
豚	-	860	844	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	7月3日	7月2日	(7月累計)
豚	60,300	39,400	162,000
成牛計	3,990	3,570	11,670
和牛雌	1,090	880	3,000
和牛去勢	1,210	770	3,120
乳牛雌	730	520	1,840
乳牛去勢	370	470	1,370
交雑雌	260	450	1,090
交雑去	330	480	1,240

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 7月3日

	1,485円	(前日 1,510円)
東京		
	1,544円	(前日 1,571円)
大阪		

[豚・全農建値] 7月3日

上	中	取引頭数	市況
903円	878円	907頭	反発

と畜	牛 79頭	豚 58頭	牛概況	急伸
売買	牛 59頭	豚 74頭	豚概況	強含み

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 7月3日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	767 (767)	- (-)	5,371	-	もちあい
仙台 [中]	786 (765)	694 (698)	252	65	続伸
栃木 [地]	897 (-)	853 (-)	1,137	52	続伸
茨城 [地]	911 (907)	880 (869)	879	611	続伸
群馬 [地]	944 (914)	844 (794)	1,784	234	続伸
さいたま [中]	912 (895)	885 (882)	146	147	反発
東京 [中]	901 (897)	881 (866)	918	606	強もちあい
横浜 [中]	897 (896)	868 (863)	598	590	もちあい
山梨 [地]	889 (894)	857 (880)	186	156	もちあい
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	864 (843)	818 (809)	790	125	続伸
京都 [中]	798 (-)	716 (-)	67	103	もちあい
大阪 [中]	860 (832)	844 (817)	58	74	急伸
神戸 [中]	745 (-)	741 (-)	48	125	-
岡山 [地]	687 (671)	660 (654)	246	287	強気配
広島 [中]	- (798)	- (758)	280	9	-
福岡 [中]	799 (792)	767 (754)	304	59	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 6月26日～7月2日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,520,222 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,360	1,386	1,333	73,822
うで	870	933	983	940	107,770
ロース	1,134	1,269	1,348	1,246	149,859
ばら	1,274	1,350	1,406	1,355	154,348
もも	842	875	972	889	150,322
ヒレ	1,134	1,321	1,440	1,285	15,879
セット	1,090	1,106	1,147	1,115	868,222

◇近畿圏 総重量 670,255 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,268	1,421	1,509	1,408	55,587
うで	826	887	903	869	108,177
ロース	1,209	1,287	1,296	1,267	95,448
ばら	1,299	1,353	1,435	1,373	110,443
もも	853	897	956	900	145,251
ヒレ	1,266	1,327	1,512	1,351	9,688
セット	1,037	1,157	1,227	1,158	145,661

[食鳥正肉日経相場] 7月2日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社) ※休載

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	734	784	1,030	5
ムネ	481	520	616	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 7月1日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,099	757	550	600	650
安値	720	516	290	360	350
平均	837	563	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクカット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します